

日本物理学会領域2運営会議 議事録

日時： 2013年9月26日(木)11:35 – 12:30
場所： 徳島大学常三島キャンパス KC 会場
司会： 領域2代表 米田仁紀
書記： 領域2役員 田村直樹
出席者： 約35名

報告事項

1. 運営会議のあり方について、代表の米田より説明があった。(r2meeting_130926 2ページ)
2. 学生優秀発表賞について、代表の米田より前回の第68回年次大会の結果などの報告があった。(r2meeting_130926 3ページ)
3. 日本物理学会若手奨励賞の領域2における規定の以下の改定案について説明があり、質問が1件あった。質問に回答後、これについて承認頂いた。(r2meeting_130926 4ページ)
 - 年齢制限を39歳以下に緩和する。またそれに伴い幾つかの表現を改訂する。
 - 「物理学会」の前に「日本」を追記するなど、不明瞭な表現を改善する。

Q. 出産・育児休暇の性別制限はあるのか？
A. 性別制限はありません。
4. 第8回(2014年)日本物理学会若手奨励賞の審査結果(審査委員長:菊池満前々領域2代表)について、7名の応募者から以下の2名を候補者として推薦したいとの説明があり、これについて承認頂いた。(r2meeting_130926 5ページ)
 - 三木一弘(日本原子力研究開発機構)
 - 梶田信(名古屋大学エコトピア科学研究所)
5. 領域名称変更が領域代表会議において議題に上がっているが、その現状について説明があった。(r2meeting130916 6ページ)
6. 日本物理学会が領域の活性化のために不可欠な会合に参加するための交通費を支給できるようになったことについて説明があった。(r2meeting130916 6ページ)
7. 2013年10月からの領域2の役員体制案について説明があった。2013年9月で退任する役員について紹介があった。次期副代表について提案があり、これについて承認頂いた。(r2meeting_130926 7ページ)
8. 領域2の現状を議論するために、講演会に関する以下のファクトデータの紹介があった。
 - 領域2の全体講演数及び分野別講演数の推移について。(r2meeting_130926 9~10ページ)
 - シンポジウムの傾向について。(r2meeting_130926 11ページ)
 - 招待講演の傾向について。(r2meeting_130926 13ページ)
 - 以上のファクトデータに基づいて領域2役員で提案された講演会改善案(案の詳細については、以下の通り)について紹介があった。(r2meeting_130926 14ページ)
 - 座長は講演会に出席するかどうか関わらずシニアの先生方に依頼をしていく。
 - 招待講演の講演者として、若手研究者(例えば、科研費若手A採択者など)を率先して推薦していく。(r2meeting_130926 15ページ)
 - 企画セッションについては、今後も積極的に募集していく。

9. 先のファクトデータの紹介時に次回の第69回年次大会に対して、静岡大の三重野哲先生から「微粒子プラズマの計測と制御」という題目のシンポジウム提案があった旨が紹介された。(r2meeting_130926 12ページ)
10. 2014年11月18日から21日まで開催予定の第2回プラズマコンファレンス(PLASMA2014)について紹介があった。(r2meeting_130926 16ページ)
11. JSPS 学術研究センターからの情報としてこれまでの科研費の採択数などについて紹介があった。また、日本学術振興会賞や日本学術振興会育志賞へ積極的に応募して頂くようお願いがあった。(r2meeting_130926 17ページ)
12. 2013年7月に開催された APPC12/ASEPS について、非常に盛況であったこと、次回は2016年2月にオーストラリアで開催されることなどの報告が菊池前々代表の代理で安藤前代表よりあった。(r2meeting_130926 18、19ページ)
13. 日本学術会議物理学委員会の活動に関して、九大の伊藤早苗先生より報告があった。(資料非公開)

以上